



エコー・ニュースレター

Environmental Consultants for Ocean and Human

第 61 号

(令和 4 年 11 月 30 日発行)

エコー創立 48 周年・社員表彰式

弊社は、令和 4 年 9 月 3 日に創立 48 周年を迎え、9 月 5 日に『創立記念式典』を開催いたしました。これも日頃の皆様からのご愛顧の賜によるものであり、皆様へ感謝申し上げますとともに、引き続き皆様のご期待に応えられるようこれからも日々精進して参ります。

また、例年、創立記念日に合わせて『社員表彰式』を実施しています。今年度は、顕著な業績や社業への貢献のほか、社内グループ活動など 53 件が選定され、受賞者には社長から表彰状及び報奨金の授与が行われました。



社員表彰式の様子



創立記念式典の様子

出向者報告会・技術報告会

弊社では、毎年、技術研究所が主体となり、外部団体や研究機関に出向している社員による『出向者報告会』とともに、各部門の代表者が 1 年間の業務の取り組みの中から特徴のある話題を論文として作成・発表を行う『技術報告会』を開催しています。今年度は、10 月 7 日に本社会場と Web 配信の併用により開催し、出向者 12 名及び 12 部門の代表者が発表を行いました。

技術報告会では、例年と同じく活発な発表、質疑応答が行われ、審査員による論文構成や発表内容の審査の結果、12 名の発表の中から、構造解析部の中村 隆志上席技師（入社 15 年目）による「厳原港における既設消波ブロック被覆堤の改良断面の検討について」の最優秀賞をはじめ、8 名が各賞を受賞いたしました。

本報告会は、弊社にとって技術・業務の発表を通じた研鑽、意見交換の場として重要な行事となっております。今後も様々な工夫を重ねて継続してまいります。

令和 4 年度技術報告会 審査結果

- ・最優秀賞 中村 隆志（構造解析部 上席技師 15 年目）
- ・優秀賞 サリュコフ ミハイル（防災解析部 副担当技師 3 年目）
- ・優秀資料賞 チャタナタベツト パイリン（環境解析部 主任技師 3 年目）
- ・優秀発表賞 宇野 喜之（経営企画部 室長 21 年目）
- ・若手職員賞 土田 雄大（構造設計部 主担当技師 2 年目）
- ・努力賞 舟山 凌太（沖縄環境部 副担当技師 3 年目）
- ・特別社長賞 5 名（チャタナタベツト パイリン、鈴木 一帆、鷺尾 浩希、中村 隆志、宇野 喜之）

港湾功労者表彰



専務取締役 永井 裕

この度、港湾技術コンサルタンツ協会からの推薦で「港湾功労者表彰」を賜るという荣誉に預かりました。まことにありがとうございます。このような過分な賞を頂けましたのは、ひとえに今まで支えてくださいました職場の多くの先輩や同僚の方々、そして業務上接してまいりました様々な方々のご指導、ご支援があったからこそ、と心から感謝申し上げます。

私は、昭和58年、日本テトラポッド(株) (現 ㈱不動テトラ) に入社、翌59年に㈱エコーに出向(平成12年に転籍)して以来、38年に亘りエコーマンとして、事業拡大を目指し業務に取り組んでまいりました。着任以来32年間は、営業部員として、主に弊社の保有技術の紹介や、各種情報収集活動等を実施することで、受注の拡大と顧客満足度の向上に努めてまいりました。

思えば当時のエコーは、激烈な受注競争の中で、受注・利益の確保もままならず、「茨の道」を歩んでいたように思います。その中で全社員の奮闘により、昭和63年度、受注・売上額10億円を突破することができ、会社が大きく動き出しました。以来、全社挙げての受注営業活動の尖兵隊として、山に響く「やまびこ」の様に、「呼べばすぐ駆けつけるエコー」を目指し、靴を減らして汗を流した若い頃を、昨日のこのように思い出します。

その後は、管理本部に籍を置き、外に目を向けた営業業務から、労務管理等を含む内部管理業務に携わることとなり今に至っております。現在弊社は、売上額30億円を超す会社となり、来年度から始まる「第8次中期経営計画」では更なる事業の拡大・発展を目指すこととしております。また、令和6年度にはエコー創立50周年を迎えることとなります。

この中で今後、私の残りのサラリーマン人生は、今までお世話になった全ての方々への恩返しとして、自らの経験を活かし役目を果たしていくことである、と考えております。皆様方におかれましては、今後とも引き続き、ご指導、ご鞭撻頂きます様、よろしくお願い申し上げます。



災害復旧及び災害防止事業功労者表彰



営業部 茨城事務所 部長 鈴木 慎一

この度、公益社団法人全国防災協会より、令和4年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰を頂戴するという名誉に預かり、誠に嬉しく思っております。このような荣誉を得ましたことは、ひとえに、茨城県土木事業に携わってきた諸先輩・同僚の皆様からのご指導・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

私は茨城県に在職中、長年に渡って災害関連の業務に携わってまいりました。

その中でも、平成23年の東日本大震災を忘れることはできません。

3月11日の震災時に私は茨城県庁下水道課に所属し、その日は被害の情報収集に努め、翌日からは県内全域の下水道の被害状況の調査のため、県内全市町村を回りました。

一か月後、河川課への移動となり、特命により災害復旧の担当を任命され、県・市町村への災害査定に向けた復旧工法等の検討などの指導や国への事前協議など対応を何か月にも渡って進めていたことが思い出されます。

その後、災害査定が始まり、第10次以上の災害査定へ随行し、査定は明け方まで行われたこともありました。

査定後は被災個所の早期復旧を目指し、数多くの復旧工事の発注に努めてまいりました。

これら災害復旧に携わったことは、人生にとって非常に大きな経験となりました。

現在、私は茨城県の災害協力員にもなっておりますが、出来ることならば、今後私の経験が生かされることのないよう、大きな災害がおきないことを切に願います。

私は、今年4月にエコーに入社し、これまでとは異なる視点で茨城県の土木事業に関わる立場になりました。

微力ながら、土木行政の発展のためお手伝いさせていただきたいと考えておりますので、今後とも、皆様のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



●東京湾大感謝祭 2022

10月15日・16日に横浜港大さん橋ホールおよび周辺海上にて開催された『東京湾大感謝祭 2022』にエコー・水産土木建設技術センター共同でブースを出展し、水質測定やサンゴの種苗生産に関わる展示・説明を行いました。

東京湾大感謝祭は、海の再生を目的に、「都市の海・東京湾」にふさわしいライフスタイル（SDGs、エコ製品、省エネ・再エネなど）を提案する場、また、東京湾周辺住民のコミュニケーションの場として、2013年より毎年10月に開催されている感謝祭です。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた3年ぶりのリアル開催となり、2日間を通して多くの方々にご来場いただきました。日頃から海と関わりの深い活動を行う弊社としましても、来場者の方々との交流を通じ、人と海の繋がりへの感謝を再認識することができました。これからも海への感謝を忘れずに日々の業務に取り組んでいきたいと思っております。



サンゴの展示・説明の様子

●ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場 2022

ビーチライフ in 須磨 2022

NPO 法人日本ビーチ文化振興協会主催の「ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場（5月5日）」、「ビーチライフ in 須磨 2022（11月6日）」での『ビーチウッドボール大村杯』にエコーを代表し、グループ名【マリーノエコー・マリーノエコーⅡ】で参加いたしました。

お台場大会ではお陰様で『準優勝』させていただくことができました。続く須磨海岸での大会では、奮闘空しく入賞には至りませんでしたが、いずれの大会においても好天に恵まれ、青い空・白い砂のきれいな海岸で清々しいスポーツを堪能することができました。



準優勝【マリーノエコー】お台場海浜公園



ビーチウッドボールとは、砂浜で行うゲートボールとゴルフを融合させたようなスポーツですが、想像以上に面白いスポーツでした。まだまだ競技人口は少ないようですので、皆様も次回は機会があればぜひ参加してみたいはいかがでしょうか？

（西日本営業部長 木下 隆司）



【マリーノエコー・マリーノエコーⅡ】須磨海岸

●事務所移転のお知らせ

＜中国事務所＞（令和4年6月1日付）

〒732-0052 広島県広島市東区光町2-12-15 良光ビル602

TEL：082-258-4486 FAX：082-258-4487

＜四国事務所＞（令和4年6月1日付）

〒760-0080 香川県高松市木太町2886-9 リレイト木太A棟

TEL：087-899-2822 FAX：087-899-2823

＜北陸事務所＞（令和4年8月1日付）

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル201

TEL：025-240-1255 FAX：025-240-1256

入社社員紹介

薄葉 有矢 (構造系事業部 調査設計部 東日本分室)

10月より当社に採用となり、調査設計部に配属となりました。
 設計を行うにあたり、前段において現地調査へ行き、構造物を直に見ることや地域特性を知ることが大変勉強になり、刺激的であります。
 維持管理業務や設計業務を通して、より社会貢献のできる技術者になれるよう精進してまいります。
《趣味・特技》 散歩をして美味しそうなお店を発見することです。



本間 靖明 (構造系事業部 調査設計部 東日本分室)

はじめは前社の出向という形から縁があり、エコーでお世話になることになりました。
 現在は主に港湾の設計業務を行っています。前社では、漁港の設計や維持管理が多かったので、違いを楽しみつつ、日々仕事をさせて頂いています。
 少しでもお力添えできるように頑張りたいと思います。
《趣味・特技》 休日にジョギングをしています。工作等物を作るのは好きです。



ムチェブエ エドウィン (経営企画部 技術研究所)

株式会社エコーの一員になれることを嬉しく思います。私は、計算流体力学のエンジニアとして、常に好奇心と意欲を持ち、技術的なノウハウを身に付けてきました。エコーが行っている事業は非常に興味深く、チームの一員として、革新的で実践的なソリューションを提供することに意欲が湧いています。目標は、常にお客様のニーズを満たす効率的で効果的なソリューションを作成することです。
《趣味・特技》 旅行、ドライブ、キャンプ、ゲーム



小田 瑞葵 (沿岸計画部 西日本計画室)

大学では、沿岸部に立地する造船所に関する研究をしてきました。
 学んだことを業務に活かすことが出来たらと思います。
 初めての大阪では生の関西弁を聞くことができ感動しながら、新生活を送っています。
 早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っていますのでご指導ご鞭撻の程宜しく願っています。
《趣味・特技》 休日は趣味のピアノを弾いたり料理をして過ごしています。



令和3年度業務表彰

1. 優良業務表彰

受賞業務	表彰者
新潟港海岸（西海岸地区）海岸保全施設機能検討業務	国土交通省 北陸地方整備局長
東京湾中央航路付帯施設検討他業務	国土交通省 関東地方整備局長
利根川下流部自然再生検討業務	国土交通省 関東地方整備局長
名古屋港新土砂処分場埋立護岸基本設計	国土交通省 中部地方整備局長
松山空港滑走路端安全区域基本設計	国土交通省 四国地方整備局長
高知港桂浜地区防波堤断面検討業務	国土交通省 四国地方整備局長
志布志港防波堤耐津波性外検討業務	国土交通省 九州地方整備局長
八戸港流況外調査	国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所長
釜石港湾口地区防波堤津波対策外検討業務	国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所長
酒田港国際物流ターミナル事業効果検討業務	国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所長
徳山下松港土砂処分場環境調査	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所長
備讃瀬戸航路等保全計画等検討業務	国土交通省 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所長
徳島小松島港等整備効果検討業務	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所長
北九州空港護岸（改良）基本設計	国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所長

2. 優秀技術者表彰

受賞者	業務名	表彰者
中村 隆志	東京湾中央航路付帯施設検討他業務	国土交通省 関東地方整備局長
平田 真二	利根川下流部自然再生検討業務	国土交通省 関東地方整備局長
安田 将人	松山空港滑走路端安全区域基本設計	国土交通省 四国地方整備局長
安田 将人	高知港桂浜地区防波堤断面検討業務	国土交通省 四国地方整備局長
三宅 崇智	八戸港流況外調査	国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所長
安田 将人	酒田港国際物流ターミナル事業効果検討業務	国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所長
花井 健太	伏木富山港(伏木地区)外港整備計画検討業務	国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所長
三宅 崇智	徳山下松港土砂処分場環境調査	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所長
原 信彦	徳島小松島港等整備効果検討業務	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所長
白井 英一	備讃瀬戸航路等保全計画等検討業務	国土交通省 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所長
住岡 直樹	志布志港防波堤耐津波性外検討業務	国土交通省 九州地方整備局 志布志港湾事務所長

発表論文紹介

1. 土木学会論文集 B3 (海洋開発) [2022.6]

準沖波に対する沖波の簡易逆推定手法の提案	森谷 拓実
海浜地形から推定する遡上帯から発生する飛砂量について	片野 明良
2022 年トンガ国海底火山噴火による東北太平洋沿岸での潮位変動の観測結果	田中 陽二
沖縄沿岸域における軽石漂流シミュレーション	白木 喜章、片山 理恵、凌 千恵、小野 信幸
OpenFAST を用いた 5,10,15MW 着床式洋上風車の風と波に対する応答	Chathura Manawasekara、田中 陽二

2. Book of Abstracts of ICRS2022 [2022.7]

Sustainable coral restoration by establishing in situ “artificial spawning hotspots” -2. Protection of adult corals against serious disturbances-	Shohei Nakamura, Keiichi Tamura
---	---------------------------------

3. Proceedings of PIANC Smart Rivers 2022 [2022.10]

Flow Analysis for Navigation Safety by Using iRIC Model Nays2DH	M. A. C. Nirochinie, Nobuyuki Ono, Yasuyuki Shimizu, and Kazuya Egami
---	---

4. 土木学会論文集 B2 (海岸工学) [2022.11]

縦堆砂垣群配置による海浜上の飛砂制御について	片野 明良
平坦な後浜天端幅を考慮した波のうちあげ高の算定方法について	片野 明良、宇野 喜之、菊地 野生
養浜した砂浜の維持管理基準	片野 明良
着床式洋上風力発電施設の応答に及ぼす風と波のミスアライメントの影響について	Chathura Manawasekara、田中 陽二

(執筆者欄は共著であっても当社役職員のみを記載)



<https://www.ecoh.co.jp> 編集・発行 経営企画部

本社 〒110-0014 東京都台東区北上野 2-6-4 上野竹内ビル

TEL 03-5828-2181 FAX 03-5828-2175

事務所 / 北海道 青森 岩手 秋田 東北 北陸 富山 茨城 東京 埼玉 横浜 中部 静岡 近畿 神戸 中国 鳥取 島根 四国

高知 九州 福岡 大分 鹿児島 沖縄 ソウル マダガスカル